

朴 珠 抄

能村研三推薦

三寒の能登や四温の日々を待ち
初明り三百六十五日の未来
火恋し病みてさらなる人恋し
潮鳴りは流人の挽歌寒夕焼
山眠る人に記憶の襞の山
御降りや奥見えてゐる藪知らず
三寒の家出て銀座四温かな
虎落笛けものの耳のみな尖る
雪をんな苦髪と言うてその昔
昼月の透ける薄さに紙漉けり
耐へて待つことも力や冬木の芽
日に風にいのち育む冬木の芽
枯野ゆく風に幽かな火の匂ひ
着ぶくれて鋭くなりぬ地獄耳
一瞬の翼持つかに紅葉散る

塙 誠一郎
菊地 光子
河口 仁志
柴田 近江
甲州 千草
平松うさぎ
七田 文子
内山 照久
兵藤 恵
榎本 秀治
上野 節子
小栗 八重
岡澤 田鶴
中村 重幸
須賀ゆかり